

私のすすめるこの1冊

林 明宏（連合教職実践研究科 教授）

『理不尽に勝つ』

平尾誠二（著）

私は縁あって本学の教師教育並びに人材育成に携わり、これからの教育を担う学生に、社会の現況や学校現場での「理不尽」とどう向き合い、折り合いをつけていくかを学んで欲しいと切に願っている。

著者の平尾誠二氏をご存知の通り、伏見工業高校、同志社大学、神戸製鋼で優勝。ラグビーをするために生まれてきたような人物である。私も本学入学を契機にラグビーを始め、7歳下のミスターラグビーは雲の上の上の上の存在である。この「理不尽」と「平尾誠二」に出会わせてくれたのがこの本であり、その2つを繋ぎ合わせたのがラグビースピリッツである。そもそもラグビー自体が「理不尽」である。ボールを後ろに投げて、前に進みトライに挑む。非合理的である。我々の時代、倒れたら「魔法の水」と称した「やかん」が運ばれ、顔に掛けられ、復活してプレイに戻る。何とも非科学的である。階級制ではなく、重量無制限の戦車のようなフォワードにも”for the team” 恐怖と責任という葛藤の真ただ中、果敢にタックルに挑む、だからラグビーは面白い。

「理不尽」を嫌悪していた彼が、ラグビーを通して「理不尽によって人が鍛えられる」というメッセージを伝える姿に、ラグビーキャリアで頂点を極めたからこそその説得力を感じる。

さらにゲームを俯瞰的に分析して「いい時は悲観的、悪い時は楽観的」と語るように、彼は思い通り

にならないことに対しても一喜一憂しない、しなやかな考え方「レジリエンス」を紹介している。この感覚は教師を目指す学生にも是非身に付けて欲しい着眼点である。

彼はアングルを変えてチームリーダーとしての論を展開し、戦術を分析している。フェイズ（局面）に対して創造力を総動員して見極め、プレイする彼は群を抜いていた。状況を見ながら「ここぞ」という場面で、最善と思われるプレイを選択する。即ちフェイズが変わる一瞬を見つけ、その一瞬に集中して準備していたクリティカル・モーメントを如何なく発揮し、その瞬間に全てを賭け、ゴールラインに迫りトライを重ねる。正しく平尾誠二の生き方であり、そこには組織としての創造性もあり、楕円形のボールが持つ不確実性を「理不尽」と捉えるのか「面白さ」と捉えるのかを投げ掛けている

私は学生に「理不尽に勝て」と励ますことはしない。しかし、「理不尽」と向き合い、一歩も引くことのない姿勢を彼の生き方から伝えたい。「うまくいかなかった時に、その原因を人のせいにしない」「周りが文句を言えないぐらいのことを自分がする」「妥協せず折り合いをつける」享年53歳の彼が託したメッセージを受け継ぎたい。そして、彼に「死」こそ「理不尽」なのか、それとも「道理」なのかを問いたい。私は「理不尽」の中、しなやかに、また、しぶとくこれからの日々を重ねていく。

第3回教育展「大学の授業～国文学科から国語領域専攻～」(報告)

附属図書館企画展示室において、令和3年11月12日(金)から11月28日(日)まで、国文学科歴任教員の功績や手記、卒業生が語る当時の様子、さらには国文学科から生まれた京都教育大学国文学会の活動などをふりかえり、国文学科のこれまでのあゆみをご紹介します。来場された方々は、学生が作成した映像や様々な展示資料に興味深く観覧されていました。



同窓会写真展(報告)

11月12日(金)から11月15日(月)まで、図書館リフレッシュラウンジ渡り廊下にて開催されました。図書館に入館するまでの展示で、綺麗な作品に思わず足を止める人も多く、活気のある展覧会になりました。



リクエストと投票で話題の本を読もう!

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています! リクエストや投票にどんどん参加してください!

12月の投票期間は

12月1日(水)～12月16日(木)

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入しています。

保育士試験対策コーナー

11月11日(木)～12月11日(土)

令和3年度「言語表現に関する技術」の実技試験で課題となっている4つの昔話について、いろいろな語り口や挿絵の絵本・紙芝居を集めました!



☆貸出できます☆

南館1階 児童書コーナー

ブックレポート応援コーナー

テーマは「真面目に勉強」はカッコ悪くない! 一歩先を行きたい京教生のためのおすすめ本!

教育学科必修科目「教育の理念と歴史」との協同事業としてブックレポートを作成するための図書展示をおこないました。

eBook・データベース トライアルキャンペーン

どんどん
ご利用ください

eBook(電子書籍)やデータベースのトライアルキャンペーンを実施します!

たくさんの資料を読むことができる貴重な機会ですので、後期授業の調べ物や論文執筆、教育研究などにぜひご活用ください。

企画1「eBook 試読」10/14～12/13

- (1) Maruzen eBook Library(丸善雄松堂)
- (2) KinoDen(紀伊國屋書店)

eBookを5分間試し読みできます。パラパラとめくってみて、気になるものにはリクエストも可能!(利用統計や選書方針を元に判断しますので、必ずしも購入できるわけではありません。)

企画2「EBSCOhost 全文データベース+ eBook のトライアル」10/14～2022年1月13日

海外の学術論文データベース EBSCOhostの各コンテンツが利用可能で、全文閲覧可能件数が飛躍的に増加します。また、同じプラットフォームから eBook も利用できます。

※データベースによってトライアル期間が異なりますのでご注意ください。

京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたい - それはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。



第29回のお知らせ

- 【日時】12月中旬YouTube公開予定
- 【場所】今回はYouTube公開のみです
- 【講師】南山泰宏（環境教育センター 教授）
- 【テーマ】水稲品種「コシヒカリ」の誕生とこれから

＜概要＞栽培植物は人の手によって約1万年前に野生植物から形態や生態的特性を大きく変えながら、従来は栽培が困難な地域にも適応できるように改良されてきました。現在、その恩恵により皆さんの食卓をたいへん豊かなものにしてきています。今回の講座では、皆さんの食生活の中で一番なじみの深いお米の品種「コシヒカリ」を例に、「コシヒカリ」がどんなふう誕生したのかから始まり、現在、新潟県で栽培されている「コシヒカリ」は実は誕生した頃の「コシヒカリ」とは異なることについてお話しします。さらに、分子遺伝学の進歩によって品種改良が現在どのように行われ、将来はどのように変わっていくのか紹介します。

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

児童書コーナー（南館1階）

幼児教育科主催
えほんのもり

※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

今月の絵本カード（学生作）



『ケーキができたわい』作：さとう わきこ
出版社：女子パウロ会

学修相談カウンター

理数系の院生が、いろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？

オンライン相談をしています！

QRコードからアクセスしてください



→ → → → →
（京都教育大学附属図書館 Web ページ）

※本サービスの対象者は本学学生のみです。学外の方、教職員は対象外となりますのでご了承ください。

※Webの「利用時の注意事項」をよく読んでご利用ください。



詳細はホームページやポスターで！

気軽に相談してください♪

冬季休業に伴う長期貸出について

学部生:12月9日（木）～12月27日（月）
院生・教職員:11月25日（木）～12月15日（水）
【返却期限日】2022年1月13日（木）

中学生事業所インタビュー報告

京都市令和3年度「生き方探求・チャレンジ体験」の代替取り組みとして、京都市立藤森中学校より「事業所インタビュー」という形で10月26日（火）に6名の生徒を受け入れました。職員2名でいくつかの質問に答え、その後、館内・館外の見学・写真撮影を行いました。参加された生徒の皆さんには、大学図書館の資料が非常に興味深いようでした。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【12月の開館日時】
6日（月）、13日（月）、20日（月）
14:00～17:00の予定です。

今月の逸品（12・1月）
『子ども服の一つ身』
『水兵服』

展示場所：図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

「論のくちび理のむすび」ご活用のお願い

附属図書館長 植山 俊宏

附属図書館は、月に一回、図書館ニュースを配信・配布しています。四面構成で、主な記事は、第一面が「私のすすめるこの一冊」、第二面・第三面が図書館からの情報提供で、各種サービス、イベント、講座や講習会などの案内、幼児教育科主催えほんのもり、今月の絵本カード（学生作）、教育資料館の開館状況や「今月の逸品」などをお知らせしています。

第四面が「論のくちび 理のむすび」となっています。この第四面の「論のくちび 理のむすび」は、『京都教育大学紀要』に掲載された論文を執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです。このように書くと、そこには論文の専門的な要約が掲載されているように思われますが、実際は、読み手として学生、院生も意識した論文内容の平易な解説と執筆者の研究についてのかみ砕いた情報が記されています。ぜひ本学京都教育大学学術情報リポジトリ「クエリの森」とともにご活用ください。

京都教育大学学術情報リポジトリ「クエリの森」URL : <https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>

本学大学教員・附属学校教諭の皆様へ

『京都教育大学紀要』の執筆者が広がりを見せない傾向にあり、「論のくちび理のむすび」も同様の様相を呈しています。つきましては、広くぜひ『京都教育大学紀要』にご投稿いただき、この「論のくちび理のむすび」をご活用の上、ご自分の研究を広くご紹介していただければと考えます。どうかよろしくお願ひ申し上げます。



開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2021年12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

12/4 学部推薦入試
12/24-1/5 冬季休業

2022年1月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1/6 授業再開
1/15-1/16 大学入学共通テスト

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>

●携帯版 OPAC

(QRコード→)

<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京都図書館 News No.255 (2021年12月号)

発行日: 2021年12月1日

編集発行: 京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp

